

ことわざ珍道記―「とにかくやってみなはれ」「案ずるより産むが易し」「ベストを尽くせば何も恥じることはない」―

清水 泰生

私は、昨年 6 月に世界マスターズのHPで、韓国テグで世界マスターズ室内陸上競技選手権大会があることを知った。レベルが高そうでエントリーするのはどうかと思ったが「とにかくやってみなはれ」「案ずるより産むが易し」のことはを思い出し 9 月にM50、3000mにエントリーした。

そして、年が変わって 3 月中旬も過ぎ、その大会が目前となった。2017 年 3 月 21 日 19 時 10 分に雨が降る関西空港を出発、20 時 40 分に金海空港に着いた。そしてプサン市内に向うリムジンバスの発車場所でバスを待ったがバスがなかなか来ない。そこへ日本語の話せる韓国の女性が「プサン駅までタクシー行くので一緒にタクシーでどうぞ」と言ってきたのでそのことばに甘えて一緒にタクシーでプサン駅へ。駅に着いて駅の近くのゲストハウスに泊まった。その日は無事終わった。

次の日（22 日）の朝プサン駅からムグンハでテグ駅へ、テグまでの鉄道運賃が、日本円にして 1000 円もかからないのに驚いた。そして、地下鉄に乗って会場（陸上振興センターメインスタジアム）へ、日の丸のある日本選手団の場所を探し合流、16 時ごろまで競技を観戦。そしてその後、テグ駅の近くのゲストハウスへ。駅からゲストハウスに行くまでに昔ながらの商店街を通った。そしてその日の夜はゆっくりし、明日のレースに備えた。いよいよ 3 月 23 日レースの日、余裕を持って早めにゲストハウスを出た。それが良い結果となった。地下鉄で反対方向の列車に間違えて乗り、違う方面に行ってしまった。気がついて慌てて引き返して会場に着いたのはスタート 1 時間前（スタートは 1 組目 11 時 10 分）だった。セーフ、危なかった。すぐにウォーミングアップをして、召集の場所へ。二組のタイムレースで、私は二組目に走る予定だったが二組目の出場者が少ないので、一組目と一緒にして、一組で（スタートは 11 時 10 分）レースをすることになった。

召集場で他の選手を見てみるといかにも速そうな体格、オーラがある選手とそうではない選手がいて、彼らの様子を持ちタイムから私の順位は 18 人中 13 番くらいかなと思った。コール（召集）を終え、他の選手とともにトラックへ。スタンドに各国の旗が掲げられ日の丸も。それを見たときなんとも言えない気持ちになった。私が出るM50、3000mは、日本人選手は私一人。「ただベストを尽くすのみ」と自分に言い聞かせてスタートを待った。ピストルの音が鳴って、レースが始まった。1ヶ月前に東京マラソンを走りフルマラソン用の練習のみをしてきたのでスタミナはあるが、3000mに対応できるスピードが十分ではない。レースは速い集団と遅い集団に分かれ、予想通り私は、遅い集団の先頭へ。そして私は、速い集団にどんどん引き離され 11 分 42 秒でゴールへ。順位は 18 人中 12 位だった。タイムと順位は予想通りで、力を出し尽くしたと思う。「ベストを尽くせば何も恥じること

はない」私の好きな（カール・ルイスの）ことば通りだった。

出場選手全員が、ゴールをし、それから出場選手全員で集合写真を…。そして、私は、日本選手団のところに帰り 16 時までレースを観戦した。1 周 200m のトラックの室内競技場で、観客と走っている選手の距離が近く、1 周 400m のトラックの屋外競技場でレースより迫力があつた。そして、さらに、選手が走る時に出る振動音が迫力を倍増しているようだった。

16 時過ぎに 18 時に行われるアスリートパーティーの会場（Hotel INTER-BURGO Daegu 2 階 コンベンションホール）へ向つた。18 時にアスリートパーティーが開始。K ポップのど派手なコンサートが始まり、しばらくしてからその音楽にみんなが踊り、各国の人たちと楽しいときをすごした。そして、翌日（24 日）10 時にゲストハウスを出てトンテグ駅から金海空港行きのリムジンバスに乗り金海空港へ。17 時 5 分発 関西空港行きの飛行機で帰国した。

今回、日の丸のユニホームを着て走り、貴重な経験をした。この挑戦、ここで得た経験を次の世代の人に伝えられたらと思う。若い人に「案ずるより産むが易し」「とにかくやってみなはれ」の精神で海外にどんどん出て行って、いろいろなことに挑戦してほしいと思う。



レース後 日本選手団の場所にて

レースにて 力走中



パーティーの券

大会のHP（日本語）

<http://www.daegu2017.or.kr/jap/>

